

## 2019年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」 事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 京都市 】

学校名【 京都市立大藪小学校 】

1 実践テーマ	I ・ III ・ V
2 実施対象者 (学年・人数)	6年 2クラス 72名 教職員 10名程 保護者 10名程
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (道徳) ② 行事名 (人権集会) ③ その他 ( ) (2) 地域における活動 1 イベント名 ( ) 2 その他 ( )
4 目標 (ねらい)	車いすバスケットボール選手の話を知ったり、実際に車いすに乗り、バスケットボールを体験したりすることで、人権意識を高めたり、パラリンピックスポーツの素晴らしさを感じたりして、インクルーシブな社会（共生社会）の構築を目指す。
5 取組内容	<p>◆事前学習 NHKの番組を視聴して、事前の知識を得る機会とした。</p> <p>◆当日の学習</p> <p>(1) はじめの挨拶、講師と選手の紹介</p> <p>(2) 講師の方からの話 ・車いすの仕組みや操作方法 ・車いすバスケットボールについて</p> <p>(3) 車いす体験 ・実際に乗って、方向転換やUターンなど</p> <p>(4) 車いすバスケットボール体験 ・選手によるデモンストレーション ・車いすでのパス・キャッチ・シュート・ドリブル ・クラス対抗でのゲーム</p> <p>(5) 選手の方からの話 ・車いすバスケットボール選手になった経緯 ・日常生活と選手としての生活について ・子どもたちに伝えたいこと</p> <p>(6) 終わりの言葉 ・子ども達の感想発表</p>

	 <p>◆事後学習 体験後, 感想を交流したり, 思いを人権標語に表現したりした。</p>
<p>6 主な成果</p>	<p>○6年生児童は, 昨年度, 車いす陸上パラリンピックメダリスト寒川進さんの講演を聞く学習を行っていた。その成果として, 学習に対して意欲的に取り組むことができた。継続的な取り組みは効果的であった。 ○参加した教職員にとっても意義のある研修の場となった。</p>
<p>7実践において工夫した点(事業の特色)</p>	<p>○今年度は, 12月, 人権月間の「人権集会」を, 1～3年生, 4・5年生, 6年生と3回実施した。そのうちの1回として, 今回の車いすバスケットボール体験授業を実施したので, 学校全体として, 人権意識が高まるきっかけとなった。保護者の参加も呼び掛けていて, 3回とも出席されている熱心な保護者の方もいらして, 大変評判も良かった。</p>
<p>8主な課題等</p>	<p>○「車いすバスケットボール」, 実際に10台の車いすを準備していただき, 子ども達一人一人が車いすに乗り, ゲームを体験できたのは良かったが, 車いすの運搬に多額の費用がかかるが課題だと感じる。(業者に頼まなければ, 教職員の負担が多くなる。) ○カリキュラムマネジメントの視点で, うまく学習を組み込むことが重要になってくる。</p>
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<p>○来年度以降もこの事業に参加できるのであれば, 引き続き6年生で実施したいと考えている。</p>